

Worldwound は、北極地域と、ウスタルヴ / ニューメリア / メンデヴ / レルムオブマンモスローズ / ホールドオブベルクゼンと接している。

メンデヴ

クルセイダーの中心となっている国で、他国の援助を受けながら 100 年以上デーモン達と戦い続けている。元々はイオバリアの民族が主要民族だったが、100 年の戦いは地元の暮らしを破壊し、今は人種のもつぽとなっている。女王ガルフリーの名の下、国は一つの目的に向かってまとまっているように見えるが、実際にはそれぞれの騎士団はそれぞれ忠誠を誓う者があり、また流入してくるならず者や犯罪者、冒険者などが町の治安を乱しているという事実もある。だがそれでも、メンデヴはゴラリオンをデーモンから護る盾としてその役割を果たしてきている。

ニューメリア

Barbarian の王と Technic League が支配するニューメリアは、デーモンとの戦いには消極的で、北の境界領域に砦をおいて Wardstone を防衛している他は、特にクルセイドに貢献しているわけでは無い。

ウスタルヴ

ウスタルヴの北の境界では多数の地方領主が勢力争いを行っており、デーモンとの戦いは二の次のようである。ただし、これらの地でも Wardstone は大事に守られている。過去に、サーコリアからの難民を国境付近で大量虐殺したことから、未だに Worldwound の南端で生き延びるサーコリア人からは敵視されている。

レルムオブマンモスローズ

デーモン達が破壊したいような真っ当な文明はこの地になく、またマンモスロード達の戦闘力はデーモン達ですら躊躇するほどなので、Worldwound はレルムオブマンモスロードに大した影響を与えていないと言われている。とはいえ、彼等もデーモン達を警戒していないでは無く、たまにマンモスライダーの偵察兵達が Worldwound の西方を荒らし回っていくそうである。

ホールドオブベルクゼン

Orc の Warlord 達が支配するこの土地も、現在はデーモン達の主たるターゲットではないようである。Orc 達も他に相手をする人間などがいるため、特にデーモンのことを気にしていないようである。

サーコリス (4645 年滅亡)

Worldwound のあった場所には、かつてサーコリスと呼ばれる Kellid 人達の国があった。国としては滅んでいるが、未だに Worldwound の中には、サーコリス人の住む集落や町が存在しているという (デーモン達の侵攻の対象では無い南西。有名な町に Gaundrun がある)